

## 第6学年 外国語科学習指導案

1 組 計 35 人  
 指導者 HRT 清川 啓介  
 AEA ウィルソン みどり

### 1 単元 「聞いて！見て！知って！Our school life. ～つながる世界～」 (NEW HORIZON Elementary English Course6 Unit7 「My Best Memory.」)

#### 2 単元の目標

- ◎ 自分の小学校生活の思い出について知ってもらったり、相手の思い出についてよく知ったりするために、相づちや質問をしながら相手の思い出についての具体的な情報を聞き取ったり、自分の思い出やその時にしたこと、その時の気持ちなどを伝えたりすることができる。

#### ○ 紹介例

My best memory is Overnight study trip.  
 I went to *Nansatsu Shonen Shizen no Ie* in December.  
 I ate curry and rice.  
 It was delicious.  
 I enjoyed talking with my friends.  
 It was fun.

#### 3 単元で育成を目指す「未来の創り手に求められる資質・能力」

問題発見力	「アブダビの友達に山下小の行事について伝える」という単元のゴールを達成するまでの学習内容を考え、自分の考えや気持ちを伝え合うことについて「自分の問い」をもつ力
判断・形成力	自分の思い出を伝えるために、“My best memory is~.”, “I went/saw/enjoyed ~.”などの表現に適切な言語材料を組み合わせ、伝える内容を形成する力
協働力	互いの表現のよさに気付いたり、互いの考えを出し合ったりしながら協力してコミュニケーションを図り、よりよい人間関係を構築する力
表現力	“What is your best memory?” , “What did you go/see/enjoy?” の表現を使って思い出やしたことを尋ねたり、“I went/saw/enjoyed~”, “It was ~.”などの過去を表す表現を使ってしたことやその時の気持ちを伝えたりする力

#### 4 単元について

##### (1) 単元の位置とねらい

これまでに子供たちは、自分の好きな物や行きたい場所を伝えたり、行った場所や見たもの、食べたものなど過去を表す表現に慣れ親しんだりしてきた。また、相手意識をもって学習課題に取り組み、友達やAEA, ALT との交流を通して、「自分の英語が伝わった。」という達成感や「もっと英語で伝えてみたい。」という思いを高めてきている。

そこで、本単元は、学校行事を通して小学校生活を振り返り、思い出について紹介することを単元のゴールとする。Unit4で学習した“I went/saw/enjoyed~”や“It was~”などの過去を表す表現や、第5学年で学習した月の言い方など、これまでに学習した表現に再び触れることで、それらの表現を身に付けることができるようにする。

本単元は、小学校生活の思い出を伝え合う活動を通して、これまでの学びを振り返り、既習表現に多く触れることができる。また、学級の友達だけでなく、アブダビの友達にも思い出について伝えるという目的をもたせることで、意欲がさらに高まることが期待される。

##### (2) 教材について

本教材は、子供たち一人一人が自分の小学校生活を振り返り、その思い出を紹介するという学習である。学校行事を表す言葉を新しく学習し、これまでに学習した“What did you ~?” の表現を使って、一番心に残った学校行事やそこで楽しんだことなどについて尋ねたり、答えたりする活動を通して、過去形の表現や月の言い方などの既習表現に触れ、それぞれの使用場面を広げていく。また、相手が話したことに “Oh, I see.” と相づちを打ったり、聞き返したりしながら自分の小学校生活の思い出について伝え合うことで、相手との関係を築きながらやり取りを続けることによさに気付く。さらに、小学校生活を振り返り、一番心に残った学校行事やその時の気持ちについて伝え合うことで、自分のことを伝えたり、相手に質問したりして友達と思い出を共有していくことの喜びを感じさせたい。

(3) 子供の実態（調査人数：35人 調査日：令和3年7月12日）

本単元の内容に関わる子供の実態は、以下のとおりである。（数字は人数）

外国語科・外国語活動で育成を目指す資質・能力について			
① 単元のゴールに向かって、「自分の問い」をもって活動していますか。 【問題発見力】	よく思う(12)	思う(18)	あまり思わない(5) 思わない(0)
② なんとかして自分の思いを伝えようとしていますか。 【判断・形成力, 表現力】	よく思う(15)	思う(16)	あまり思わない(3) 思わない(1)
③ 友達の表現のよさを取り入れ、自分の表現を工夫していますか。 【表現力, 協働力】	よく思う(13)	思う(18)	あまり思わない(4) 思わない(0)
④ 学習したことや自分の成長などを振り返っていますか。 【表現力, 問題発見力】	よく思う(21)	思う(10)	あまり思わない(4) 思わない(0)
本単元の学習への意識について			
① あなたの小学校生活の思い出は何ですか。	・ 宿泊学習(18)	・ 城山登山競走大会(14)	・ うずまき運動(11) ・ 運動会(10)
	・ 相撲・綱引き大会(10)	・ 水泳大会(2)	・ 体育科学習発表会(1)
	・ 学習発表会(1)	・ お別れ遠足(1)	・ 器楽のコンクール(1)
② あなたが伝えたい山下小のよさや特徴は何ですか。	・ 自主清掃(8)	・ 長い歴史(3)	・ あいさつ運動(3)
	・ おいしい給食(2)	・ 仲良しの友達(1)	・ 日曜城山登山(1) ・ 山下の森(1)

以上の実態やこれまでの授業の様子から、本学級の子供の多くは、単元のゴールに向かって「自分の問い」を立て、友達の表現のよさを取り入れながら、進んで学習に取り組んでいる。しかし、相手の言ったことに反応を返したり、質問したりすることに関しては、恥ずかしさがあり、会話を続けることができない子供が多い。また、ジェスチャー等のコミュニケーションのポイントを使って自分の思いを伝えたり、既習の表現を活用して自分の表現をよりよく工夫したりすることに課題がある。そこで、本単元の指導に当たって以下のような手立てを行うこととする。

5 指導に当たって

(1) 「必要性」を実感する教師の手立て

本単元は、アブダビの友達に「山下小の行事について伝えるビデオレターを作成する」という単元である。これまで子供たちは、オンラインによる自己紹介を行ったり、夏休みの思い出についてのビデオレターを作成したりして交流を重ねてきた。「意欲をもつ過程」では、これまでの6年生が外国語科の授業で作成した学校紹介VTRを鑑賞したり、「Small Talk」を行ってコミュニケーションのモデルを示したりすることで、子供一人一人がゴールイメージをもって活動に取り組むことができるようにする。また、単元のゴールを確認することで、「山下小の行事について分かりやすく伝えたい。」という思いや、そのためには、「どのような内容にし、どのような表現を知る必要があるのか。」などの「自分の問い」をもつことができるようにする。

(2) 「自律性」を実感する教師の手立て

「自分の問い」追究タイム（「Word Adventure Time」）では、活用できそうな表現を全体で想起したり、タブレットPCのコンテンツやAEAとのやり取りなどの中から自分に適した解決方法を選択したりすることで、言語材料を活用する技能を身に付けるようにする。さらに、交流の場では「Question Book」を活用することで、自分の思いや考えに合った表現を選びながら、思い出について質問したり答えたりして交流することができるようにする。

(3) 「関係性」を実感する教師の手立て

「自分の問い」交流タイム（「1-up Time」）では、「Activity」で生じた「うまく伝わらない言葉があった。」、「もっと分かりやすく伝える必要がある。」などの課題を全体で共有し、「こう言えいいんじゃないかな。」という友人の言語材料などを参考に「1-up ボード」を活用しながら考えることで、子供たちが協力しながら、内容や使用する言葉を選択し、工夫してコミュニケーションを図ることができるようにする。

(4) 「有用性」を実感する教師の手立て

「自分の問い」振り返りタイム（「Reflection」）では、タブレットPCに蓄積した動画をコミュニケーションのポイントや表現面から比較したり、「My Goal カード」を活用して身に付いた表現を確認し、できるようになったことや自分の課題などを記述したりすることで、自己の成長や新たな課題に気付くことができるようにする。また、ビデオレターに対する感想をアブダビの友達からもらうことで、「自分の英語が伝わった。」という思いや、「今度はもっと分かりやすく伝えたい。」という思いをもつことができるようにする。

6 指導・評価計画 (全8時間)

過程 (時)	主な学習活動 [活用する英語表現]	学びの価値を見いだす子供の反応	主な教師の手立てと重点評価項目 [◆]
<p>意欲をもつ (1)</p> <hr/> <p>楽しむ (6)</p> <hr/> <p>振り返る (1)</p>	<p>1 単元のゴールを知り、「自分の問い」をもつ。また、課題を解決するための学習計画を確認する。  <b>【「自分の問い」づくりタイム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の思い出に残る山下小の行事についてワークシートに書く。</li> <li>行事や学校生活、活動の言い方について知る。</li> </ul> <p>2 思い出に残る行事やその時の気持ちを伝える表現や言葉に慣れ親しむ。          [What is your best memory?]          [My best memory is~.]          [It was~.]  <b>【「自分の問い」追究タイム】</b></p> <p>3 思い出に残る行事とその理由を伝える表現や言葉に慣れ親しむ。          [What did you ~?]          [I went/saw/enjoyed~]  <b>【「自分の問い」追究タイム】</b></p> <p>4 よりよい「思い出交流会」にするための友達への質問内容や反応の仕方を考えたりする。  <b>【「自分の問い」追究タイム】</b></p> <p>5 思い出に残る行事について友達と交流する。  <b>【本時】</b>  <b>【「自分の問い」交流タイム】</b></p> <p>6 山下小の行事について紹介するビデオレターの内容を考え、練習する。  <b>【「自分の問い」交流タイム】</b></p> <p>7 互いのビデオレターを見合い、アドバイスし合う。  <b>【「自分の問い」交流タイム】</b></p> <p>8 ビデオレターを撮影する。  <b>【「自分の問い」振り返りタイム】</b></p>	<p>山下の行事について分かりやすく伝えるためには、どんな表現を知る必要があるかな。また、どんな工夫ができそうかな。</p> <p>思い出を伝えるためには、“My best memory is~.”という表現を使うといいだね。</p> <p>“What did you ~?”で友達が何をしたのか尋ねることができるんだね。</p> <p>これまで学習した表現を使ったり、相手の反応を確かめたりしながら思い出を交流することができたよ。</p> <p>友達とアドバイスし合うことで内容がもっと詳しくなったよ。</p> <p>山下小の「行事」について分かりやすく伝えるためには、これまでに学習した表現や様子を表す写真を使ったり、コミュニケーションのポイントを意識したりすることが大切だね。</p>	<p>㊸ 「アブダビの友達に山下小の行事について紹介するビデオレターを送ろう。」という単元のゴールを知ること、活動に対する目的意識や相手意識をもつことができるようにする。また、「山下小の行事の特徴やよさを分かりやすく伝えるためには、どのような内容にし、どのような表現を知る必要があるのか。」などの「自分の問い」をもつことができるようにする。</p> <p>㊹ これまでの6年生が制作した学校紹介 VTR を鑑賞することで、コミュニケーションの見通しやゴールイメージをもつことができるようにする。</p> <p>◆ 思い出に残る行事を、“My best memory is~.”, “I went/saw/enjoyed ~.”などの表現を使って、伝え合うことができる。  <b>【知識・技能: やり取り, タブレット PC】</b></p> <p>㊺ タブレット PC のコンテンツや AEA との対話などから自分に必要な活動を選択して取り組むことで、自信をもって思い出に残る行事やその時の気持ちを「Activity」で伝えることができるようにする。</p> <p>㊻ 友達と思い出について交流する際、「Question Book」を活用することで、これまでに学習した表現を活用しながら質問したり、反応を返したりしてやり取りを維持することができるようにする。</p> <p>◆ “What is your best memory?”, “What did you go/see/enjoy?”などの表現を使って思い出に残る行事を尋ねたり、“My best memory is~.”, “I went/saw/enjoyed ~.”, “It was~.”の表現を使って思い出に残る行事やその時の気持ちなどを答えたりしている。  <b>【思考・判断・表現: やり取り, ワークシート】</b></p> <p>㊼ 「1-up Time」(「自分の問い」交流タイム)を行うことで、活動の中で生じた課題やよりよい表現を全体で共有し、次のコミュニケーション活動で活用することができるようにする。</p> <p>㊽ 蓄積した動画を比較しながら自分の活動について振り返り、「My Goal カード」に記入することで、自己の成長や新たな課題に気付くことができるようにする。また、ビデオレターに対する感想をアブダビの友達からもらうことで、伝え合うことの有用性に気付くことができるようにする。</p> <p>◆ 進んで自分の思い出に残る行事を伝えたり、友達のことを知るために質問したり、反応を返したりしながら伝え合おうとしている。  <b>【主体的に学習に取り組む態度: 発表, 「My Goal カード」】</b></p>

7 本時 (5/8)

(1) 目標

思い出に残る行事について、相手の反応を確かめたり質問し合ったりしながら交流することができる。

(2) 展開

□ 教師の言葉掛け ( ) 子供の反応 [◆] 重点評価項目

過程(分)	主な学習活動と予想される子供の反応	主な教師の手立て
意欲をもつ (7)	<p>1 「Small Talk」を聞いて、本時のめあてと学習の進め方を確認する。 【「自分の問い」づくりタイム】</p> <p>H: What is your best memory? A: My best memory is our school trip. H: Where did you go? A: I went to <i>Kumamoto</i>. H: <i>Kumamoto</i>? It's nice. What did you enjoy? A: I enjoyed talking with my friends. H: That's good. How was it? A: It was fun. ※ このような形でやり取りを続ける。</p>	<p>㊟ 前時で考えた質問リストや「Question Book」を活用しながら「Small Talk」を行うことで、本時の活動の見通しをもつことができるようにする。また、「たくさん質問して友達の思い出について詳しく知りたい。」などの「自分の問い」をもつことができるようにする。</p>
楽しむ (28)	<p>質問を工夫して、友達の思い出について詳しく知ろう。</p> <p>2 「Word Adventure Time」を行い、本時の活動で活用できそうな表現を確認する。</p> <p>My best memory is~. I went/saw/enjoyed~. It was~.</p> <p>3 「Activity①」を行う。 【「自分の問い」追究タイム】</p> <p>4 「1-up Time」を行い、やり取りの中で気付いた友達のよいところや、生じた課題を共有する。また、聞き直しや繰り返しのあるモデルスキットを見て、よりよいやり取りの方法について考える。 【「自分の問い」交流タイム】</p> <p>友達と小学校生活の思い出について交流し合って、友達の表現でよかったところや自分の課題はありましたか。</p>	<p>㊟ 「Word Adventure Time」では「Small Talk」で活用した表現や、AEA の伝え方の工夫を出し合うことで、コミュニケーションの見通しをもつことができるようにする。</p> <p>㊟ 「Activity①」では、質問したり答えたりしながら互いの思い出やその時の気持ちについて交流することで、友達の思い出について詳しく知ったり、互いの表現のよさに気付いたりすることができるようにする。</p> <p>㊟ 友達と思い出について交流する際、「Question Book」を活用することで、これまでに学習した表現を活用しながら質問したり、反応を返したりしてやり取りを維持することができるようにする。</p>
振り返る (10)	<p>• “What did you~?” などを使ってたくさん質問していました。 • 質問の答えに対して「1-up Chants」にある“Me, too.”などの反応を返していました。 • 写真やイラストを効果的に使って分かりやすく伝えていました。</p> <p>5 「1-up Time」で共有したよさを生かして、「Activity②」を行う。 【「自分の問い」追究タイム】</p> <p>6 本時の成果を動画で撮影したり、「My Goal カード」に自分ができるようになったことや工夫したこと、課題を記入したりすることで、本時の学習を振り返る。【「自分の問い」振り返りタイム】</p> <p>友達の思い出についてより詳しく知るために、どのような質問や工夫ができましたか。</p>	<p>㊟ 「1-up Time」では、「Activity①」のやり取りを通して友達が使っていたよい質問や反応、工夫を全体で共有する。また、「反応を返すことができなかった。」など「Activity①」で生じた課題を全体で共有することで、どのような言葉を返せばよかったのかを具体的に考え、「Activity②」の交流で生かすことができるようにする。</p> <p>㊟ 相手が話したことを聞き直したり、繰り返したりするAEAとHRTのモデルスキットを聞くことで、コミュニケーションを維持する言語の働きに気付くことができるようにする。</p> <p>◆ 思い出に残る行事について“What is your best memory?”, “What did you ~?”の表現を使って相手の思い出を尋ねたり, “My best memory is~”, “I went/saw/enjoyed~”, “It was~.”の表現を使って思い出やその時の気持ちを答えたりすることができる。 【思考・判断・表現：やり取り】</p>
	<p>• 「Question Book」に書いたこれまでに学習した表現を使って、友達の思い出を詳しく知ることができました。 • 相手が言ったことを聞き直したり、繰り返したりすることで会話を長く続けることができました。</p>	<p>㊟ 自分が話す様子を動画で撮影し、これまでに蓄積してきたものと表現やコミュニケーションの視点から比較することで、自分の成長や表現を工夫することのよさに気付くことができるようにする。</p> <p>㊟ 「My Goal カード」にできるようになったことや工夫したこと、学習の到達度を記入し、その理由を問い掛けることで、これまでに学習した言葉の有用性に気付くことができるようにする。</p>

必要性

自律性

関係性

有用性

